

～人権学習シリーズvol.2「働く」活用学習会～



『働く』



「働くってなに?」との問いにあなたは答えられるでしょうか?

働くことは、基本的な権利であるとともに、社会の中で個人が認められ、自己実現をはかるためにも大切なものです。

しかし、長らく不況の中で、失業者の増大やフリーターの増加など、働くことが難しくなっています。また、偏見や差別などによる不採用や、職場での人間関係などで、身も心も働くことが後を絶たない状況です。

このようなことから、働くことを人権の観点から考えようと、人権学習シリーズVol.2「働く」を作成しました。働くことの意味を問い直すことからはじめ、多様な職業観・働き方を考えること、そして、偏見や差別なく共にいきいきと働ける関係をつくることをめざした教材で、学校や地域、職場で活用されることを願っています。

この教材の紹介と実際に活用してみる学習会を開催します。たくさんのご参加をお待ちしています。

日時

2004年8月10日(火) 13:00～17:00

場所

ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)
大阪市中央区大手前1-3-49 TEL.06-6910-8500

●プログラム

定員 90人(先着順)

参加・資料代 300円

(申込方法)

裏面参加申込用紙に必要事項を記入のうえ、
郵送・FAX・E-mailいずれかで
お申し込みください。

セッション1

13:00～14:00

パネルディスカッション

「働く」ナビゲーション!

なぜいま教材「働く」が必要なのか?

「働く」の構成や、それぞれの教材のねらいなど、
教材の作成に携わった委員の皆さんとともに考えます。

パネラー

- 小頭 芳明さん (クボタワークス株式会社)
- 佐々木妙月さん (情報の輪サービス株式会社)
- ちよんせいこさん (共生ユニットAFUROまつばら)
- 松井 千穂さん (連合大阪)



セッション2

14:10～17:00

体験してみなくちゃわからない!

「働く」実験室!

まずは教材にあるワークショップを体験し、
教材の活用方法について考えていきます。

「たいけん1・2」でひとつずつ教材を体験していただけます。

たいけん1 14:10～15:30

- A 「さまざまな働き方 メリット? デメリット?」
ファシリテーター 佐々木妙月さん
- B 「ターニングポイントはこれだった」
ファシリテーター ちよんせいこさん

たいけん2 15:40～17:00

- C 「「十五少年漂流記」のように」
ファシリテーター 小頭芳明さん
- D 「女性が働く≠男性が働く...?」
ファシリテーター 松井千穂さん

主催・問い合わせ・申込み(財)大阪府人権協会人権啓発部